

# 岩屋緑地に親しむ会 会報

令和6(2024)年10月1日発行 第92号

編集・発行

岩屋緑地に親しむ会

広報・連絡委員会

## 今年は大豊作!! 大量

## 春恒例タケノコ掘りと市民配布開催

令和6年4月14日(日)「岩屋緑地に親しむ会」恒例のタケノコ掘りと市民配布が開催された。近年はタケノコの発生が少なく市民配布の量が心配されていたが、参加者は会員22名、「どんぐりの森を守る会」から4名。また団体会員の(株)アーレスティからも10家族28名、みどりの協会から3名に加えて今年初の試みで里山体験の市民講座受講者17名と館長が参加し過去最大人数での開催となった。

会員らは9時に休憩所に集合。ミーティングで役割分担してキノコ栽培地周り・旧さくら広場横竹林・R1号線横竹林へと分かれた。市民講座の集合時間が9時半のため講師の森北副会長と吉田会計監査は休憩所に残り参加者の集合後に挨拶・注意事項を確認し竹林へ向かう。例年ならタケノコを探して掘るのだが今年は違う、至るところからタケノコが発生し見えている。1時間もすると先行して掘っていた会員のほとんどは疲れ果て道具を市民講座の方々に譲り、掘り方の指導に力がある。掘り終らないうちに「こっちに、まだタケノコあるぞ～」と数か所から声が聞こえてく



る。旧さくら広場横の竹林のタケノコが特に多くこのままでは掘り切れ

ないため他の竹林のメンバーを集結。市民配布用の大量のタケノコが並んだ。今年は1週間前に竹林2か所の看板での配布を告知だけだが配布開始時には約100人の大行列ができた。11時に先頭の方より1人1本選んでいただき、まだ欲しい方は列の最後尾へ再び並んで頂いた。多くの方々が数回並び直し満足して帰って行った。初めてのタケノコ掘りを体験した受講者からは作業は大変だったが貴重な体験ができとても嬉しいです。また来年も参加したいとお言葉を頂きました。



【写真上：市民配布用にズラリと並んだ大量のタケノコ、写真左：最後まで頑張って掘る市民講座参加の親子、写真右上：タケノコ配布待ちの市民の

行列、写真右下：お目当てのタケノコを選ぶ市民】  
※タケノコ掘りが5/18中日新聞朝刊に掲載されました

